

第11回

一

関

市

景

観

ま

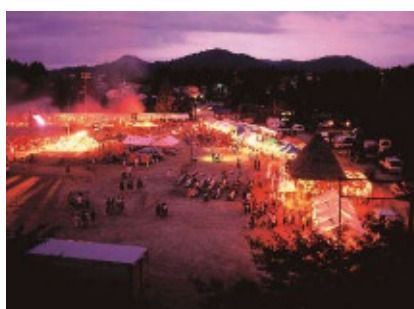
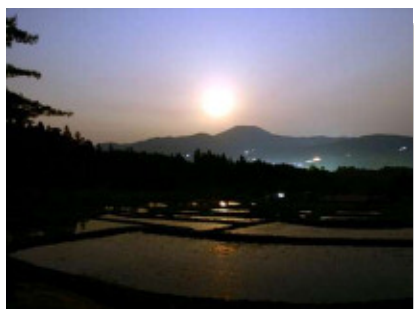
ち

づ

く

り

賞



令和4年度  
一関市

## 一関市景観まちづくり賞について

一関市景観まちづくり賞は、一関市景観まちづくり条例第 23 条の規定に基づき、地域の魅力ある景観を守り育て、次世代へ継承するため、優れた景観形成に貢献している建造物等及び市民等の景観まちづくりに寄与する活動等を表彰し、それに携わる人々の努力をたたえることで、市民、事業者の景観まちづくりに対する意識の高揚と景観の質の向上を図るとともに、景観まちづくり活動を促進することを目的に行うもので、平成 22 年度からスタートした制度です。

### 一関市景観まちづくり賞

#### ◆賞の選考・決定

一関市景観審議会にて表彰対象を選考し、市長が決定

#### ◆選考基準

- (1) 周囲の街並みや自然環境との調和を図り、地域の優れた景観づくりに寄与しているもの
- (2) 創意工夫、努力により優れた景観を創出しているもの
- (3) 歴史や文化が感じられ、地域に親しまれているもの
- (4) 景観づくりに対して先導的な役割を果たしているもの
- (5) その他景観まちづくりに特に寄与しているもの

#### ◆景観部門

周辺景観と調和し、優れた景観の形成に寄与している建築物、工作物、外構、緑化、屋外広告物その他の物件又はこれらの複合体

※建築物等の完成年度、工法は問わない

#### ◆まちづくり活動部門

継続的に地域の特性を生かした良好な景観の創出や保全などを行い、景観形成に貢献していると認められる活動を主体的に行っている個人又は団体

※概ね 3 年以上継続して活動しているもの

#### ◆募集期間

第 11 回 令和 4 年 4 月 1 日～令和 4 年 6 月 30 日まで

#### ◆応募状況

- ・景観部門 2 物件
- ・まちづくり活動部門 1 活動

◆景観部門受賞物件（敬称略）

名 称	みはらしカフェ tent.	一関ハリストス正教会群
所在地	一関市大東町大原字山吹 60-1	一関市萩荘字箱清水 56-1
用 途	飲食店	聖堂・住居
事業主	小野寺 美穂	小池 祐幸
設計者	佐藤工夢店株式会社	—
施工者	佐藤工夢店株式会社	川股建設
完成年	令和4年	平成元年

◆まちづくり活動部門受賞活動（敬称略）

名 称	中津谷川イルミネーション同好会
活動主体	中津谷川イルミネーション同好会
活動場所	一関市室根町津谷川
活動歴	約 12 年間

◆景観部門 景観賞

○みはらしカフェ tent.

この地域でも人口減少が進み空家が増える中、様々な問題が発生してきている。今回の物件は、日本の棚田百選に選ばれた大東山吹棚田にある古民家を喫茶店にリノベーションしたもので、山吹棚田や室根山の景観資産を眺望できる立地であり、外観は当時の窓ガラスを出来るだけ再利用するなど古民家としての外観を活かしている。

また、駐車場、建物周辺の竹林等も景観に配慮した整備がされており、周囲の街並みや自然環境との調和を図り大東地域の優れた景観づくりに寄与している。

事業主：小野寺 美穂

設計者：佐藤工夢店株式会社

施工者：佐藤工夢店株式会社





○一関ハリストス正教会群

ログハウスで建てられた建物群であり、木のぬくもりを感じられる外観である。聖堂入口へのアプローチには芝生を配し道路から距離をとることで圧迫感も無く、敷地周辺を手入れされた生垣で囲まれており周辺との調和もとれている。地域のシンボルとして誰もが知っている教会である。住宅側へ植栽するなど、周辺景観への配慮がうかがえる。教会の建築において素材や色など創意工夫、努力により優れた景観を創出している。

事業主：小池 祐幸

施工者：川股建設



## ○中津谷川イルミネーション同好会

現在は少子高齢化が進み、当時の賑わいも薄れてしまった地域であるが、どこか懐かしさと優しさを感じる美しい里の風景といえる。

この地域は、地域の中心を流れる津谷川と里山を背景とした農村集落である。冬季間は、雪に覆われ水墨画の如くひっそりとした商店街がたたずむ地域と変化することにより、より一層、昭和の古き良き時代を醸し出している。

この幻想的な街道筋を更に魅力を引き出すとともに、地域の安全・環境美化の意識の向上を高めることで景観形成を創出している。

始めに2軒が、火付け役となり始めた活動が、次々と周りに良い意味で伝染し、現在は44軒・4施設と賛同者が増えるなど活動範囲は広がりを見せている。現在は、この取り組みが口コミで話題となり、マスコミに取り上げられるなど地域の冬の風物詩となっている。

この活動は、参加者が自発的に行っているものであり、イルミネーション活動を通して、地域住民が景観形成に取り組んでいる先導的事例ともいえる活動。





## ◆一関市景観審議会、北原啓司会長からのメッセージ

景観部門の「みはらしカフェ tent.」は大東の山吹棚田のほとりに建っていた古民家をリノベーションしたカフェでした。棚田や室根山が主役として存在する素晴らしい風景の中で、その脇役として新しく風景の一員になろうとしている景観として特筆すべきものであり、またそこから見る景色を楽しむ景観としても意味のある受賞作だと思います。

一方で、「一関ハリストス正教会群」も興味深い景観です。ハリストス正教会は、北海道から東北にかけて地域毎独自の特色を持っています。一関では、住宅地にフィンランド製のログハウスとして誕生しました。最初は、違和感があったかもしれませんが、30年という年月で地域に馴染み、住宅地景観に上手に溶け込んでいるところに、感心しました。

また、活動部門の「中津谷川イルミネーション同好会」は、長年継続してきた活動であり、本当の意味での個人が自ら参加する景観であり、見ていて思わず嬉しくなるような景観として存在しており、さらに本誌における景観啓発にも大きく寄与する活動であり、今回の景観賞として表彰するとともに、今後の活動の継続を願いたいと思います。

## ○一関市景観審議会委員名簿（選考委員）

会長	北原 啓司	弘前大学特任教授
職務代理	三宅 諭	岩手大学農学部教授
委員	阿部 新一	一関商工会議所 専務理事
委員	佐々木 賢治	(一社)一関市観光協会 会長
委員	村上 恵志	(一社)岩手県建築士会一関支部長
委員	菅原 理	一関市協働推進会議 会長
委員	菊池 泰一	大東支所推薦
委員	橋本 温子	川崎支所推薦
委員	松村 秀男	岩手河川国道事務所 計画課長
委員	廣中 勝之	岩手県南広域振興局土木部一関土木センター建築指導課長
委員	原田 哲	まちづくりスタッフ
委員	高橋 系子	まちづくりスタッフ



## 一関市 建設部 都市整備課

〒021-8501  
一関市竹山町7番2号  
TEL 0191-21-8543